

IM-Workflow
Ver.7.2

セットアップガイド

2012/12/19 第6版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2010/04/28	初版
2010/07/30	第 2 版 「3.1 IWP/AFWのインストール」に説明を追記しました。 「3.3 IM-Workflowのインストール」に説明を追記しました。 「3.4 初期データインポート」に説明を追記しました。
2010/10/29	第 3 版 奇数ページのフッターを修正しました。 「4.2 インストールファイルの削除」に説明を追記しました。 「4.3 DBテーブルの削除」に説明を追記しました。
2011/04/01	第 4 版 IM-WorkflowDesigner の説明を追記しました。 「2.7 IM-WorkflowDesignerのインストール」を追記しました。 「3.7 IM-WorkflowDesignerのインストール」を追記しました。 「4.4 IM-WorkflowDesignerの削除」を追記しました。
2011/04/18	第 5 版 「3.7.1.2.1 IM-WorkflowDesigner e Builder(Eclipse)版のインストール」の誤字を修正しました。
2012/12/19	第 6 版 「5 付録」を追加しました。 「5.1 Microsoft SQL Server 利用時の注意点」を追加しました。

<< 目次 >>

1	はじめに.....	1
1.1	用語解説.....	1
1.2	前提条件.....	1
1.3	インストール対象モジュール.....	2
1.3.1	intra-mart WebPlatformの場合.....	2
1.3.2	intra-mart AppFrameworkの場合.....	2
2	インストールの流れ.....	3
2.1	IWP/AFWのインストール.....	3
2.2	IM-共通マスタのインストール.....	3
2.3	IM-Workflowのインストール.....	3
2.4	初期データインポート.....	3
2.5	サンプルデータインポート.....	3
2.6	アクセス権限の付与.....	3
2.7	IM-WorkflowDesignerのインストール.....	4
3	インストール.....	5
3.1	IWP/AFWのインストール.....	5
3.2	IM-共通マスタのインストール.....	5
3.3	IM-Workflowのインストール.....	6
3.3.1	インストーラの起動と操作.....	6
3.3.2	インストールの注意点.....	6
3.3.3	インストールの方法.....	7
3.3.4	WebApplication Serverへの登録.....	13
3.4	初期データインポート.....	14
3.5	サンプルデータインポート.....	14
3.6	アクセス権限の付与.....	15
3.7	IM-WorkflowDesignerのインストール.....	16
3.7.1	IM-WorkflowDesigner.....	16
3.7.2	Webサービスアクセス設定.....	19
4	アンインストール.....	20
4.1	アンインストールに関する注意点.....	20
4.2	インストールファイルの削除.....	20
4.3	DBテーブルの削除.....	22
4.4	IM-WorkflowDesignerの削除.....	22
4.4.1	IM-WorkflowDesigner RCP版の場合.....	22
4.4.2	IM-WorkflowDesigner eBuilder版の場合.....	22
5	付録.....	23
5.1	Microsoft SQL Server 利用時の注意点.....	23

1 はじめに

本ドキュメントは、IM-Workflow のインストール手順について記述しています。

1.1 用語解説

intra-mart WebPlatform／AppFramework	以下、IWP／AFW と略します。
intra-mart Server Manager	システム全体を管理するサーバです。 以下、imSM と略します。
intra-mart Service Platform	サービスを起動するためのサーバ本体です。 以下、imSP と略します。
Application Runtime	アプリケーションの実行エンジンです。 以下、AppRuntime と略します。
Resource Service	スクリプト開発モデルのプログラムファイルを管理するサービスです。 以下、ResourceSrv と略します。
Storage Service	ファイルを管理するサービスです。 以下、StorageSrv と略します。
Web Server Connector	WebServer との連携用モジュールです。 以下、WSC と略します。

1.2 前提条件

IM-Workflow をインストールするには以下の前提条件があります。

- IWP／AFW のインストールが完了していること。
- IM-共通マスタのインストールが完了していること。

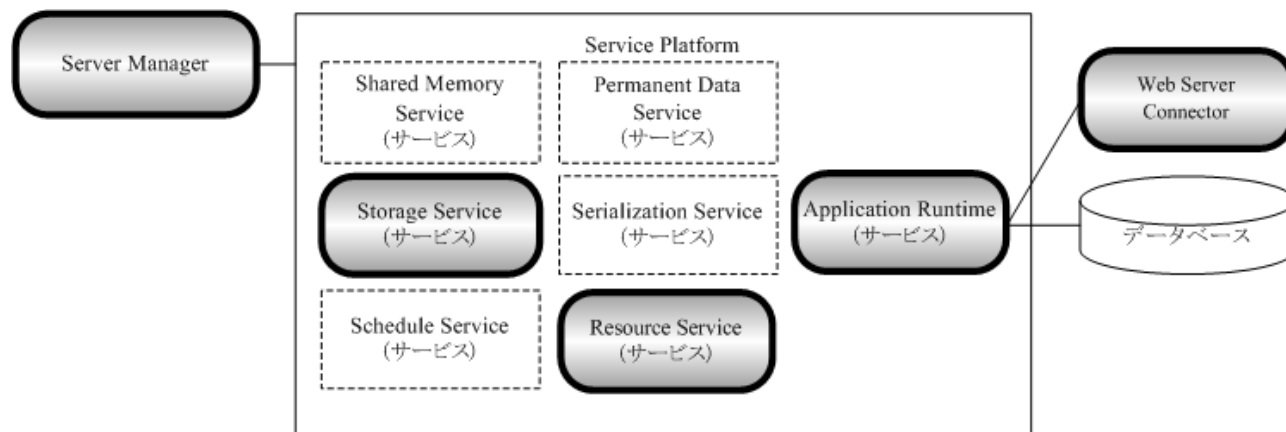
IWP／AFW は、「アドバンスド」または、「エンタープライズ for BPM」が必要です。
「スタンダード」では動作しません。

また、本製品をご利用になられる環境についても、事前に把握した上でインストールを開始してください。インストールに際しては、下記の事項に関して事前にチェックすることを推奨します。

- intra-mart サーバの構成
- IWP/AFW をインストールしたディレクトリ
- Application Runtime のコンテキストルート (標準は doc/imart)
- Resource Service のプログラムディレクトリ(標準は pages)
- Storage Service のコンテンツディレクトリ(標準は storage)
- WebServer Connector のコンテンツディレクトリ
- ディスクの空き容量

1.3 インストール対象モジュール

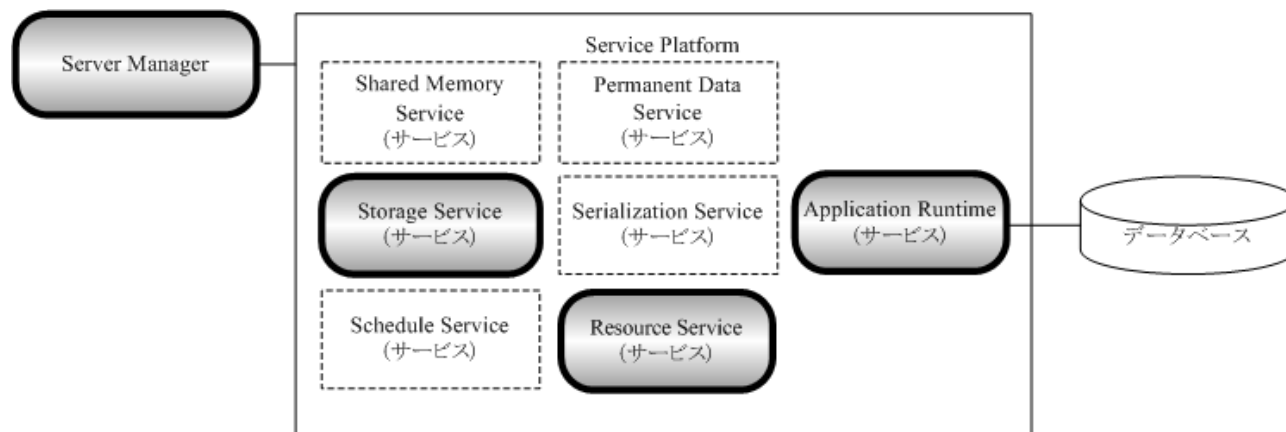
1.3.1 intra-mart WebPlatformの場合



以下のモジュールに対してインストールを行います。

- Server Manager
- Application Runtime
- Resource Service
- Storage Service
- WebServer Connector

1.3.2 intra-mart AppFrameworkの場合



以下のモジュールに対してインストールを行います。

- Server Manager
- Application Runtime
- Resource Service
- Storage Service

2 インストールの流れ

以下の手順でインストールを行ってください。

2.1 IWP/AFWのインストール

	参照	ページ
3.1	IWP/AFWのインストール	5

2.2 IM-共通マスタのインストール

	参照	ページ
3.2	IWP/AFWのインストール	5

2.3 IM-Workflowのインストール

	参照	ページ
3.3	IM-Workflowのインストール	6

2.4 初期データインポート

	参照	ページ
3.4	初期データインポート	14

2.5 サンプルデータインポート

	参照	ページ
3.5	サンプルデータインポート	14

2.6 アクセス権限の付与

	参照	ページ
3.6	アクセス権限の付与	15

2.7 IM-WorkflowDesignerのインストール

参照		ページ
3.7.1	IM-WorkflowDesigner	16
3.7.2	Webサービスアクセス設定	19

3 インストール

3.1 IWP／AFWのインストール

IWP／AFW をインストールします。

IWP／AFW のインストールに関しては、**IWP／AFW** に付属の「intra-mart WebPlatform セットアップガイド」または、「intra-mart AppFramework セットアップガイド」を参照してください。

IWP／AFW のパッチがリリースされている場合は、最新パッチの適応を推奨します。

パッチのインストールに関しては、付属の「readme.txt」および「history.txt」を参照してください。

3.2 IM-共通マスタのインストール

IM-共通マスタ をインストールします。

IM-共通マスタ のインストールに関しては、**IWP／AFW** に付属の「**IM-共通マスタ** セットアップガイド」を参照してください。

3.3 IM-Workflowのインストール

IM-Workflow のパッチがリリースされている場合は、最新パッチの適応を推奨します。
パッチのインストールに関しては、付属の「`readme.txt`」および「`history.txt`」を参照してください。

3.3.1 インストーラの起動と操作

インストーラの起動および操作は以下のように行います。

- Windows の場合
 1. `java.exe` コマンドにパスが通っていることを確認します。
 2. エクスプローラで本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動します。
 3. `im_workflow¥install` ディレクトリへ移動します。
 4. **setup.jar** をダブルクリックし起動します。
 5. インストーラの画面が表示されます。
 6. 画面の設定項目を設定して、[Next] ボタンを押します。以下同様
 7. 最後に設定項目一覧が表示されます。その設定でよろしければ [OK] ボタンを押します。
(間違っていた場合は、[Prev] ボタンで戻り、設定し直してください)
 8. インストールが開始されます。
- Solaris、Linux の場合
 1. `java` コマンドにパスが通っていることを確認します。
 2. コンソール画面で本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動します。
 3. `im_workflow/install` ディレクトリへ移動します。
 4. コンソールから `java -jar ./setup.jar` と入力します。
 5. インストーラの画面が表示されます。
 6. 画面の設定項目を設定して、[Next] ボタンを押します。以下同様
 7. 最後に設定項目一覧が表示されます。その設定でよろしければ [OK] ボタンを押します。
(間違っていた場合は、[Prev] ボタンで戻り、設定し直してください)
 8. インストールが開始されます。

3.3.2 インストールの注意点

インストールの際に必要な、入力項目の注意点を説明します。

- 「JSP/Servlet プログラムの保存ディレクトリ」とは
Application Runtime のコンテキストルートを意味します。
標準は、**IWP/AFW** をインストールしたディレクトリの「`doc/imart`」です。
- 「スクリプト開発モデルプログラムの保存ディレクトリ」とは
Resource Service のコンテキストルートを意味します。
標準は、**IWP/AFW** をインストールしたディレクトリの「`pages`」です。
- 「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」とは
Storage Service コンテンツのルートディレクトリを意味します。
標準は、**IWP/AFW** をインストールしたディレクトリの「`storage`」です。

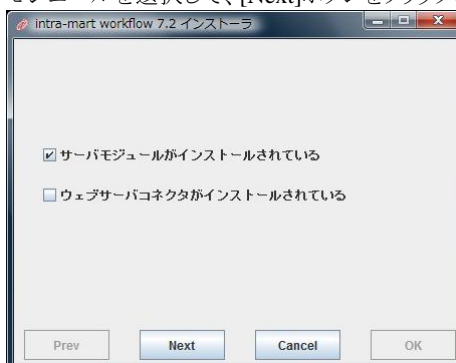
3.3.3 インストールの方法

3.3.3.1 IWP/AFWをスタンドアロン型でインストールしている場合

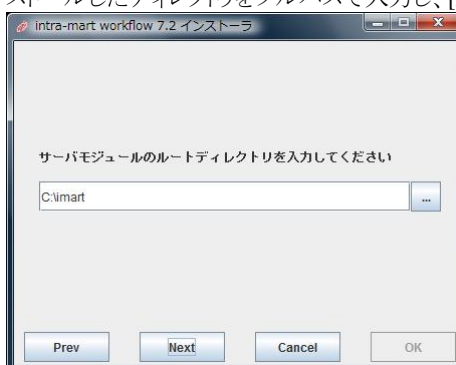
インストール手順は以下の通りです。

項番	手順	入力
1	サーバモジュールがインストールされている(y/n)?	y
2	ウェブサーバコネクタがインストールされている(y/n)?	n
3	サーバモジュールのルートディレクトリを入力してください	IWP/AFWをインストールしたディレクトリをフルパスで入力してください
4	サーバモジュールの構成を選択してください (1:スタンドアロン環境を構築 2:分散環境を構築)?	1
5	HTTP サーバの構成を選択してください (1:intra-mart HTTP サーバを使用している 2:ウェブサーバコネクタを使用している)	1
6	サーバモジュールの文字コードを選択してください (1:Windows-31J 2:Shift_JIS 3:EUC-JP 4:UTF-8)	4
7	ウェブブラウザへ送信する文字コードをせたくしてください (1:Windows-31J 2:Shift_JIS 3:EUC-JP 4:UTF-8)	4
8	JSP/Servlet プログラムの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
9	スクリプト開発モデルプログラムの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
10	Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
11	サンプルをインストール	n
12	この構成でよろしいですか(y/n)?	y

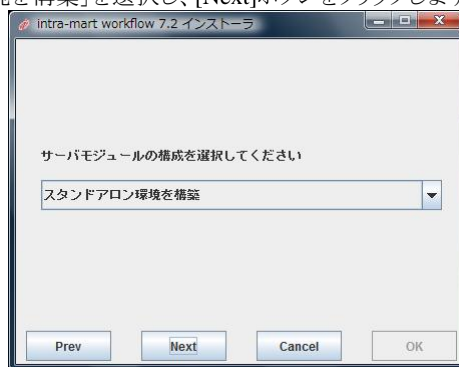
- (1) インストール対象のモジュールを選択して、[Next]ボタンをクリックします。



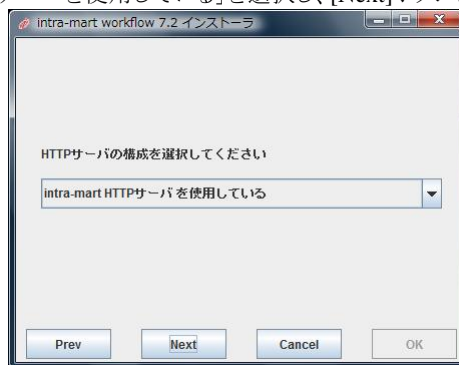
- (2) IWP/AFW をインストールしたディレクトリをフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



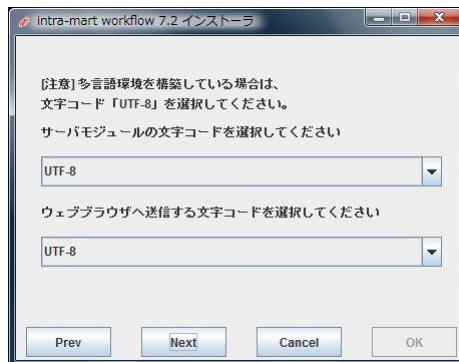
- (3) 「スタンドアロン環境を構築」を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



- (4) 「intra-mart HTTP サーバを使用している」を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



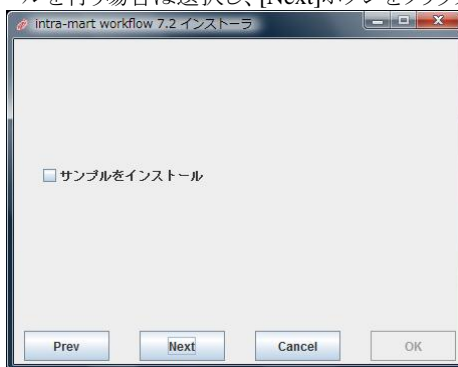
- (5) 「サーバモジュールの文字コード」、「ウェブブラウザへ送信する文字コード」を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



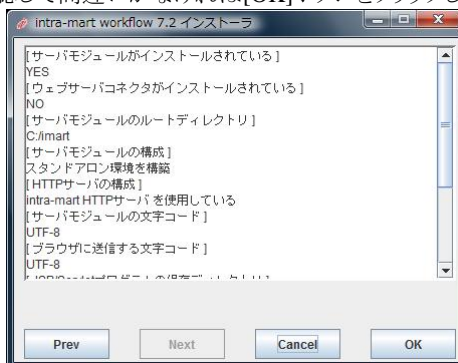
- (6) 「JSP/Servlet プログラムの保存ディレクトリ」、「スクリプト開発モデルプログラムの保存ディレクトリ」、「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」をフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



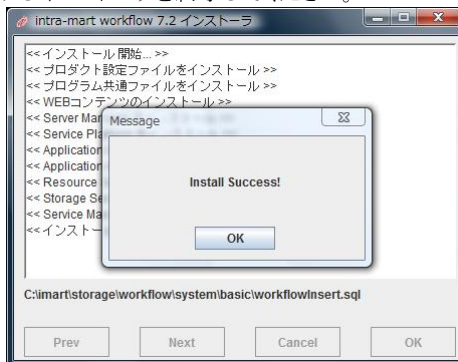
- (7) サンプルのインストールを行う場合は選択し、[Next]ボタンをクリックします。



- (8) 設定した内容を確認して間違いがなければ[OK]ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。



- (9) インストールが完了するとダイアログが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしインストーラを終了してください。



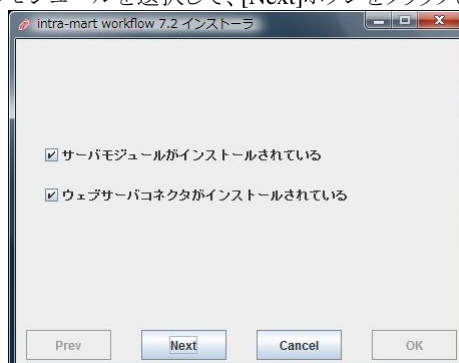
3.3.3.2IWP/AFWをネットワーク分散型でインストールしている場合

以下のモジュールに対して、ここで説明する手順を繰り返し、インストールしてください。

- intra-mart Server Manager
- Application Runtime
- Resource Service
- Storage Service
- Web Server Connector

項番	手順	入力
1	サーバモジュールがインストールされている(y/n)?	y
2	ウェブサーバコネクタがインストールされている(y/n)?	n
3	サーバモジュールのルートディレクトリを入力してください	IWP/AFWをインストールしたディレクトリをフルパスで入力してください
4	ウェブサーバコネクタのルートディレクトリを入力してください	ウェブサーバコネクタをインストールしたディレクトリをフルパスで入力してください
5	サーバモジュールの構成を選択してください (1:スタンドアロン環境を構築 2:分散環境を構築)?	2
6	Server Manager コンテンツをインストール(y/n)?	y
7	Application Runtime コンテンツをインストール(y/n)?	y
8	Resource Service コンテンツをインストール(y/n)?	y
9	Storage Service コンテンツをインストール(y/n)?	y
10	サーバモジュールの文字コードを選択してください (1:Windows-31J 2:Shift_JIS 3:EUC-JP 4:UTF-8)	4
11	ウェブブラウザへ送信する文字コードをせんたくしてください (1:Windows-31J 2:Shift_JIS 3:EUC-JP 4:UTF-8)	4
12	JSP/Servlet プログラムの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
13	スクリプト開発モデルプログラムの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
14	Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
15	サンプルをインストール	n
16	この構成でよろしいですか(y/n)?	y

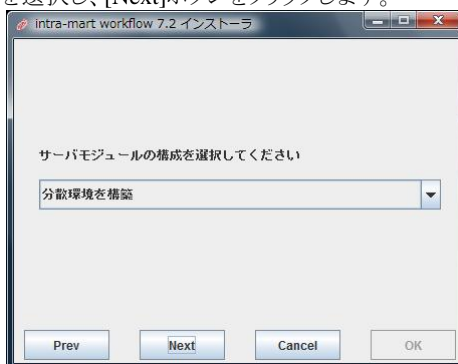
(1) インストール対象のモジュールを選択して、[Next]ボタンをクリックします。



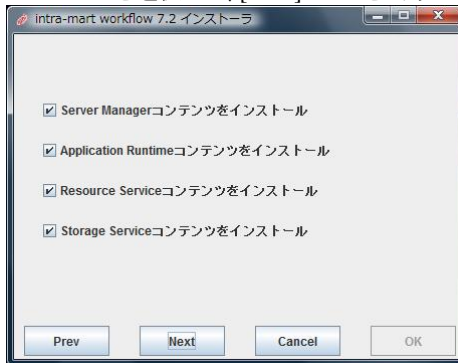
- (2) **IWP/AFW** をインストールしたディレクトリおよびウェブサーバコネクタをインストールしたディレクトリのフルパスで入力し、**[Next]**ボタンをクリックします。



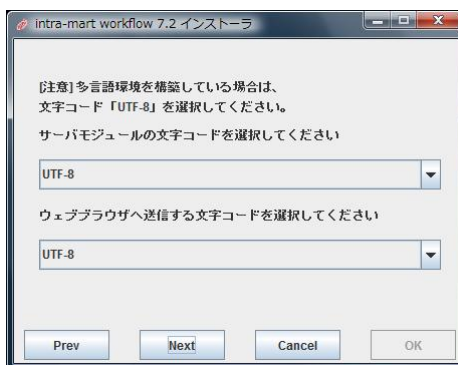
- (3) 「分散環境を構築」を選択し、**[Next]**ボタンをクリックします。



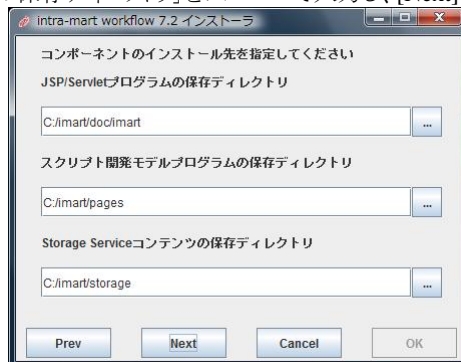
- (4) インストール対象のモジュールを選択して、**[Next]**ボタンをクリックします。



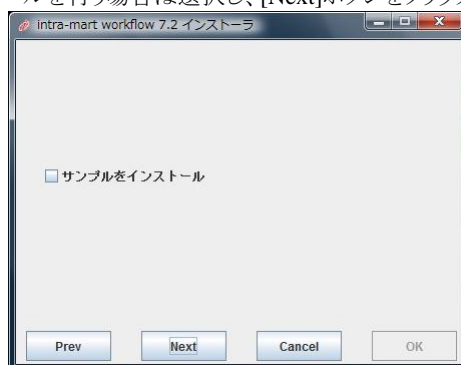
- (5) 「サーバモジュールの文字コード」、「ウェブブラウザへ送信する文字コード」を選択し、**[Next]**ボタンをクリックします。



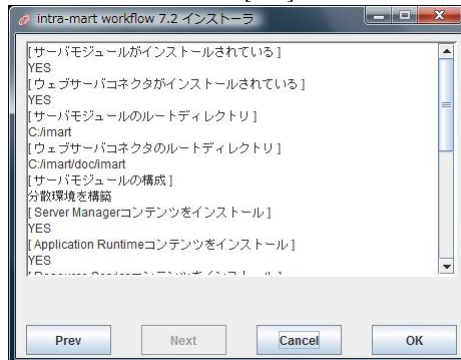
- (6) 「JSP/Servlet プログラムの保存ディレクトリ」、「スクリプト開発モデルプログラムの保存ディレクトリ」、「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」をフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



- (7) サンプルのインストールを行う場合は選択し、[Next]ボタンをクリックします。

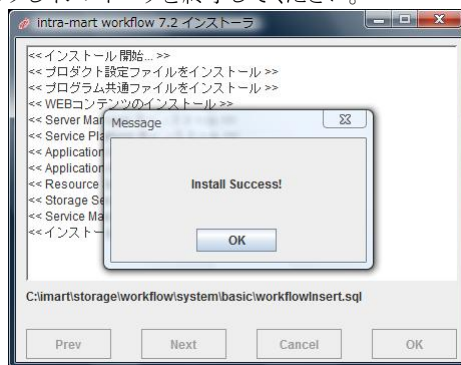


- (8) 設定した内容を確認して間違いがなければ[OK]ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。



- (10) インストールが完了するとダイアログが表示されます。

[OK]ボタンをクリックしインストーラを終了してください。



3.3.4 WebApplication Serverへの登録

intra-mart AppFramework をご利用の場合は、WebApplication Server への登録(デプロイ)が必要になります。

WebApplication Server への登録(デプロイ)方法は、「intra-mart AppFramework セットアップガイド」を参照してください。

3.4 初期データインポート

- ◆ IM-Workflow の最新パッチを適応後に、「初期データインポート」を行うことを推奨します。

システム管理者でログインし、[ライセンス]画面より、IM-Workflow の「初期データインポート」を行ってください。

IM-Workflow Set Up Module	
プロダクトタイプID	IW
バージョン	7.2.0
インストール日時	04/30,2010 00:00
初期データインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>
サンプルデータインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>

3.5 サンプルデータインポート

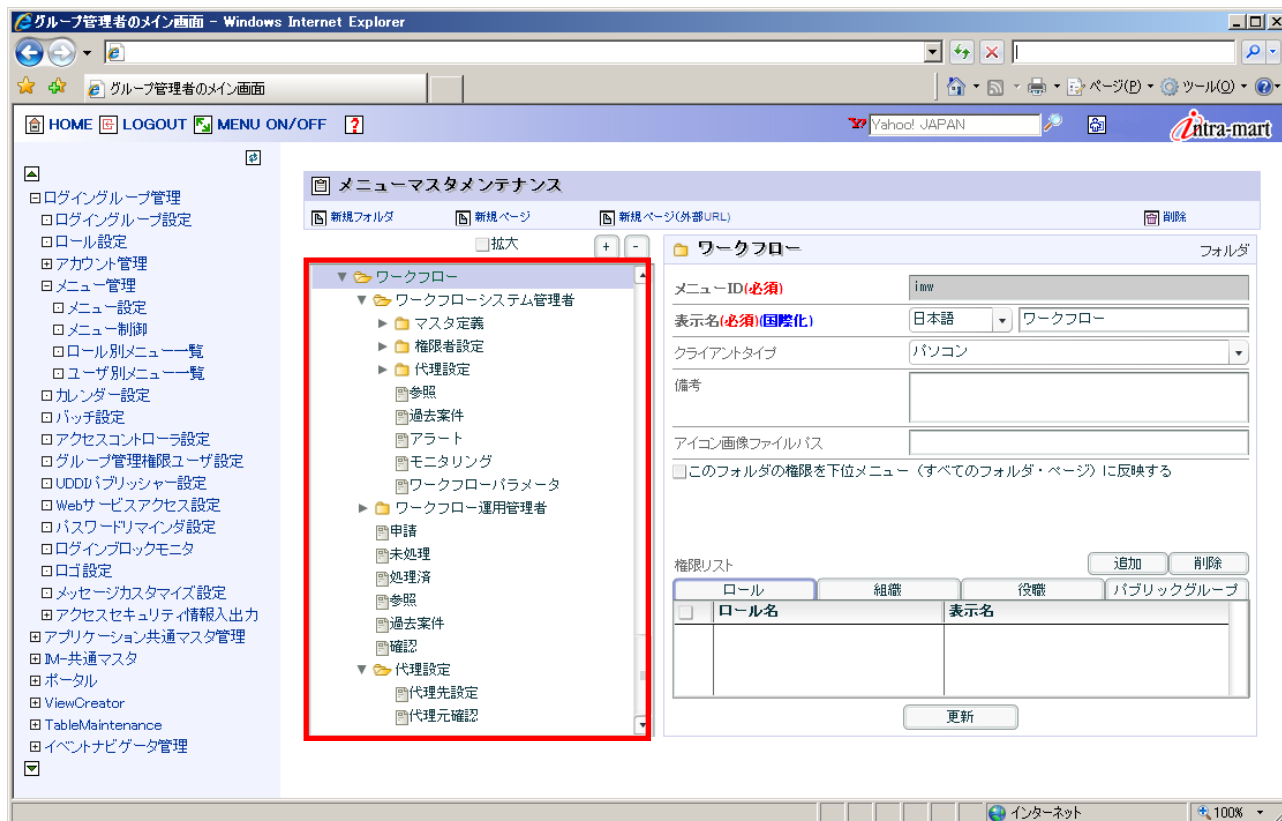
- ◆ サンプルデータは 必要な場合にのみインポートを行ってください。
- ◆ IM-Workflow のサンプルを使用するには、IWP/AFW および IM-共通マスタのサンプルがインポートされている必要があります。

システム管理者でログインし、[ライセンス]画面より、IM-Workflow の「サンプルデータインポート」を行ってください。

IM-Workflow Set Up Module	
プロダクトタイプID	IW
バージョン	7.2.0
インストール日時	04/30,2010 00:00
初期データインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>
サンプルデータインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>

3.6 アクセス権限の付与

一般ユーザが IM-Workflow の画面を利用するには、ログイングループ管理者でログインし、[ログイングループ管理] - [メニュー管理] - [メニュー設定]画面より、アクセス権を設定する必要があります。



3.7 IM-WorkflowDesignerのインストール

IM-WorkflowDesigner とは IM-Workflow のマスタ定義を作成するためのクライアントツールです。
必要に応じてインストールを行ってください。

3.7.1 IM-WorkflowDesigner

IM-WorkflowDesigner には、**RCP 版** と **e Builder(Eclipse)版** があります。
「3.7.1.1 IM-WorkflowDesigner RCP版の場合」、または「3.7.1.2 IM-WorkflowDesigner e Builder(Eclipse)版の場合」のいずれかを行ってください。

3.7.1.1 IM-WorkflowDesigner RCP版の場合

3.7.1.1.1 IM-WorkflowDesigner RCP版のインストール

IM-WorkflowDesigner RCP 版 は、IM-Workflow Ver.7.2 パッチ 04 以降に同梱されています。また、管理者メニューの[IM-Workflow Designer ダウンロード]よりダウンロードが可能です。
ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、任意の場所に配置してください。
workflow_designer.exe をダブルクリックすると IM-WorkflowDesigner RCP 版 が起動できます。

3.7.1.2 IM-WorkflowDesigner e Builder(Eclipse)版の場合

3.7.1.2.1 IM-WorkflowDesigner e Builder(Eclipse)版のインストール

IM-WorkflowDesigner e Builder(Eclipse)版 をご利用になる場合は、Eclipse 3.4.2 が必要になります。
「3.7.1.2.1.1 e Builderのインストール」、または「3.7.1.2.1.2 Eclipseのインストール」のいずれかを行ってください。

3.7.1.2.1.1 e Builder のインストール

e Builder Ver.7.2 をインストールしてください。e Builder Ver.7.2 には Eclipse 3.4.2 が同梱されています。
e Builder のインストールに関しては、e Builder に付属の「e Builder セットアップガイド」を参照してください。

3.7.1.2.1.2 Eclipse のインストール

Eclipse 3.4.2 をインストールしてください。
Eclipse 3.4.2 は下記サイトより eclipse-je-ganymede-SR2-win32.zip をダウンロードしてインストールしてください。
Eclipse ダウンロードサイト : <http://www.eclipse.org/downloads/packages/release/ganymede/sr2>

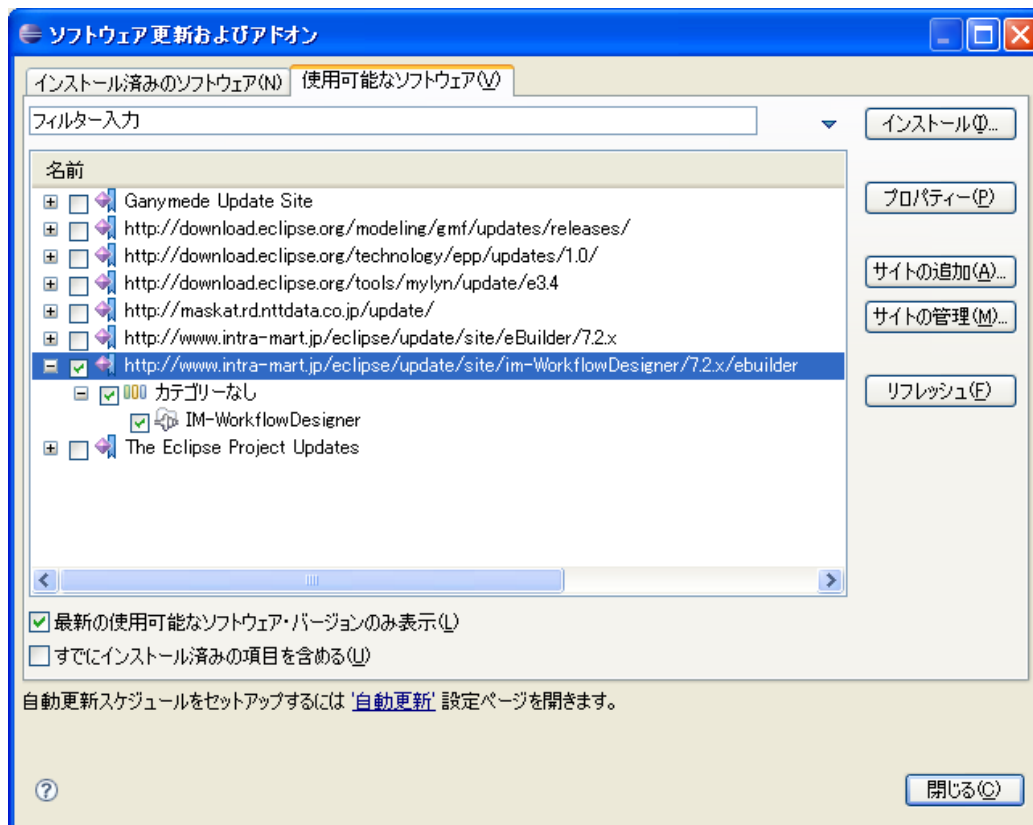
3.7.1.2.2 IM-WorkflowDesigner プラグインのインストールおよび更新

更新サイトを設定し、プラグインの最新化を行ってください。

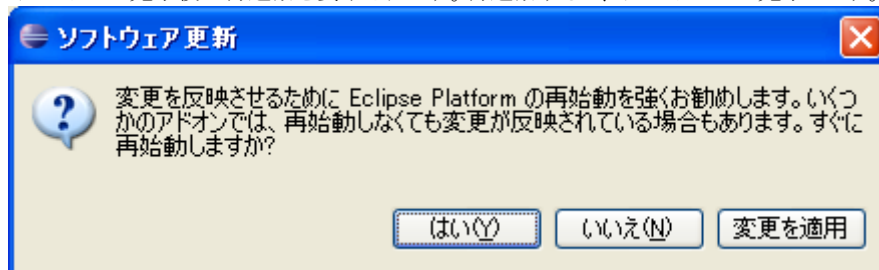
1. eclipse.exe をダブルクリックして Eclipse を起動し、「ヘルプ」→「ソフトウェア更新」メニューを選択してください。
2. 「ソフトウェア更新ダイアログ」から「使用可能なソフトウェア」タブをクリックし、以下のサイトを追加してください。

ロケーション : <http://www.intra-mart.jp/eclipse/update/site/im-WorkflowDesigner/7.2.x/ebuilder>

3. 追加したサイトから「IM-WorkflowDesigner」を選択して、「インストール」をクリックしてください。



インストール完了後に再起動を要求されます。再起動すると、インストールが完了します。



3.7.2 Webサービスアクセス設定

IM-WorkflowDesigner では Web サービスによりサーバと通信するため、Web サービスアクセス設定が必要です。設定が必要な Web サービスについては、「IM-WorkflowDesigner ヘルプ」を参照してください。

Web サービスアクセス設定の方法に関しては、IWP/AFW に付属の「intra-mart WebPlatform/AppFramework グループ管理者操作ガイド」を参照してください。

なお、IM-WorkflowDesigner で必要とする全 Web サービスに対して、「guest」ロールを一括設定するためのサンプルデータがありますので、必要に応じて参照してください。

RCP 版の場合：

```
<%インストールディレクトリ%/ workflow_designer/ ws_access.xml
```

eBuilder(Eclipse)版の場合：

```
<%インストールディレクトリ%/eclipse/workflow_designer/ ws_access.xml
```

サンプルデータは、ログイングループ管理者のアクセスセキュリティインポート機能によりインポート可能な形式となっています。

アクセスセキュリティのインポートについては、IWP/AFW に付属の「intra-mart WebPlatform/AppFramework グループ管理者操作ガイド」を参照してください。

4 アンインストール

IM-Workflow にはアンインストーラがありません。

次の手順に従って、該当するデータおよびファイル/ディレクトリの削除を行ってください。

なお、ディレクトリ名は標準インストール状態での名称で記載してあります。設定を変更している場合は、それぞれの環境に合わせて該当するファイルを削除して下さい。

4.1 アンインストールに関する注意点

- サーバを運用中にアンインストール作業を行うと、正しくアンインストールができなかったり、サーバが正しく動作を継続できなくなったりすることがあります。アンインストール作業は、必ずサーバを停止した状態で行ってください。
- intra-mart AppFramework をご利用の場合、サーバへの再登録(デプロイ)を行わないとアンインストールしたことがサーバの動作に反映されないことがあります。アンインストールを行った場合は、WebApplication Server への削除と再登録を必ず行ってください。
- アンインストールは、一部のみの操作だけでは、intra-mart システムが正常に機能しなくなる恐れがあります。必ずシステム全体(すべてのサーバ)に対して、完全にアンインストール作業を行ってください。

4.2 インストールファイルの削除

以下のモジュールに対して、ファイル/ディレクトリの削除をします。

- Server Manager
 - bin/lib/im_workflow.jar ファイル
 - bin/lib/im_workflow_bpw.jar ファイル
 - bin/lib/jdom-1.0.jar ファイル
 - conf/message/im-workflow-message_ja.properties ファイル
 - licenses/im_workflow.iar ファイル
 - plugin/jp.co.intra_mart.workflow.* ディレクトリ
- Application Runtime
 - bin/lib/im_workflow.jar ファイル
 - bin/lib/im_workflow_bpw.jar ファイル
 - bin/lib/jdom-1.0.jar ファイル
 - doc/imart/csjs/im/app/search/plugins/tabs/department_and_role ディレクトリ (WebServer Connector を使用しない場合)
 - doc/imart/csjs/im/app/search/plugins/tabs/public_group_and_role ディレクトリ (WebServer Connector を使用しない場合)
 - doc/imart/workflow ディレクトリ (WebServer Connector を使用しない場合)
 - doc/imart/WEB-INF/lib/im_workflow.jar ファイル

- Resource Service
 - bin/lib/im_workflow.jar ファイル
 - bin/lib/im_workflow_bpw.jar ファイル
 - bin/lib/jdom-1.0.jar ファイル
 - pages/platform/src/workflow ディレクトリ
 - pages/platform/src/workflow_bpw ディレクトリ

- Storage Service
 - bin/lib/im_workflow.jar ファイル
 - bin/lib/im_workflow_bpw.jar ファイル
 - bin/lib/jdom-1.0.jar ファイル
 - storage/workflow ディレクトリ
 - storage/workflow_bpw ディレクトリ

- WebServer Connector
 - csjs/im/app/search/plugins/tabs/department_and_role ディレクトリ (WebServer Connector を使用した場合)
 - csjs/im/app/search/plugins/tabs/public_group_and_role ディレクトリ (WebServer Connector を使用した場合)
 - workflow ディレクトリ (WebServer Connector を使用した場合)

サンプルをインストールした場合は、以下のモジュールに対しても、ファイル/ディレクトリの削除をします。

- Server Manager
 - conf/message/sample-workflow-message_ja.properties ファイル

- Application Runtime
 - doc/imart/sample/workflow ディレクトリ
 - doc/imart/WEB-INF/classes/data-config-imw_sample_purchase.xml ファイル
 - doc/imart/WEB-INF/classes/event-config-imw_sample_purchase.xml ファイル
 - doc/imart/WEB-INF/classes/service-config-imw_sample_purchase.xml ファイル
 - doc/imart/WEB-INF/classes/jp/co/intra_mart/sample/workflow ディレクトリ

- Resource Service
 - pages/src/sample/workflow ディレクトリ

4.3 DBテーブルの削除

IM-Workflow の DB テーブルを削除します。

ご利用の DB の SQL 発行ツールより、次のファイルを実行してください。

- %StorageService%/workflow/system/basic/workflowDropTable.sql
- %StorageService%/workflow/system/basic/workflowBpwDropTable.sql

また、「IM-Workflow アーカイブバッチ」を実行した場合は、上記ファイル実行後に「IMW_」で始まるテーブルを手動で削除してください。

サンプルをインストールした場合は、以下のファイルも実行してください。

- %StorageService%/workflow/system/sample/sample-workflowDropTable.sql

4.4 IM-WorkflowDesignerの削除

IM-WorkflowDesigner を削除します。

4.4.1 IM-WorkflowDesigner RCP版 の場合

配置した RCP 版のディレクトリを削除してください。

4.4.2 IM-WorkflowDesigner eBuilder版 の場合

「3.7.1.2.1.1 e Builderのインストール」を行った場合は、e Builder に付属の「e Builder セットアップガイド」を参照してアンインストールを行ってください。

「3.7.1.2.1.2 Eclipseのインストール」を行った場合は、Eclipse のアンインストールを行ってください。

5 付録

5.1 Microsoft SQL Server 利用時の注意点

Microsoft SQL Server を利用する場合、「テーブル スキャンによるロック待ち」が発生する可能性があります。

ロック待ちを回避するための方法のひとつの方法として「READ_COMMITTED_SNAPSHOT」の利用が挙げられます。

利用の是非を検討のうえ、必要に応じて利用してください。

※ 「テーブル スキャンによるロック待ち」ならびに「READ_COMMITTED_SNAPSHOT」については、詳しくは Microsoft SQL Server のドキュメントを参照してください。

[READ_COMMITTED_SNAPSHOT の利用方法]

利用するには、以下のようにデータベースに対して READ_COMMITTED_SNAPSHOT を ON に設定する必要があります。

```
ALTER DATABASE {data_base_name} SET READ_COMMITTED_SNAPSHOT ON;
```

※ データベースへの接続コネクションがすべて終了している状態で実行してください。

**IM-Workflow Ver.7.2
セットアップガイド**

2011/12/19 第6版

**Copyright 2000-2012 株式会社NTTデータ イントラマート
All rights Reserved.**

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>